



通常上映

# インドネシア映画特集

図書館収蔵のインドネシア映画の上映

新型コロナウイルス感染防止のため  
下記のご理解をお願いします。

- 座席数を削減しています。
- 入場にはマスクの着用が必要です。
- 咳エチケットにご協力ください。
- 鑑賞券はトレイにおいてください。
- 職員はマスク・手袋を着用します。

通常上映

# インドネシア映画特集

図書館収蔵のインドネシア映画の上映

会期: 10月4日(日)~10月31日(土) ※休館日・休映日除く  
観覧料: 500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わたすクラブ」会員の方は250円。(会員証の提示が必要です。)

4(日) 14:00 / 9(金) 14:00

## 三人姉妹 *The Three Sisters*

ススン、ナナ、ネニーは美しい3人姉妹。母親を早くに亡くし長女のススンが母親代わりに家族の世話をしていた。父親はススンの結婚相手を探すのだが、なかなかうまく行かない。「インドネシア映画の父」と言われるウスマル・イスマイル監督の大ヒット作。10曲以上の音楽が挿入されたミュージカル・コメディである。



監督: ウスマル・イスマイル  
出演: チトラ・デウイ  
ミカ・ウイジャヤ  
1956年/35ミリ/モノクロ/114分  
インドネシア/日本語字幕付き

8(木) 11:00 / 10(土) 11:00

## 蚊帳の中 *Behind the Mosquito Net*

ハサンとスルレラの夫婦は、二人の家を持ちたいのだがままならない。ある日ハサンは会社の上司と衝突して仕事を辞めてしまうが、家族に言い出せない。当時人気スターだったクリスティン・ハキムとスラメット・ラハルジョ・ジャロットのコンビによる小市民の夫婦を描いた作品。



監督: トウグ・カルヤ  
出演: クリスティン・ハキム  
スラメット・ラハルジョ・ジャロット  
1982年/35ミリ/カラー/94分  
インドネシア/日本語字幕付き

11(日) 11:00 / 16(金) 14:00

## ナガ・ボナル将軍 *Naga Bonar*

1945年。スリで前科者のナガ・ボナルは仲間の子ジャンと一緒にオランダからの独立戦争に加わる。文字も読めないナガ・ボナルだが、口八丁で出世していく。インドネシアにはオランダからの独立戦争を描いた映画は多いが、本作のようなコミカルなものは初めてだった。人間味豊かな主人公を描いた異色の戦争映画である。インドネシア映画の歴史的名作の1本とされている。



監督: M・T・リシャフ  
出演: デディ・ミスワル  
ヌルル・アリフィン  
1987年/35ミリ/カラー/108分  
インドネシア/日本語字幕付き

15(木) 11:00 / 18(日) 11:00

## 一切れのパンの愛 *Love in a Slice of Bread*

ハリスとマヤンはもうすぐ結婚して1年になる。そこに幼馴染のトパンがやって来る。そして3人で旅行に行くことになる。ハリスとマヤンは愛し合っていたが、次第にうまく行かなくなっていたのだ。インドネシアを代表するガリン・ヌグロホ監督のデビュー作。それまでのインドネシア映画とまったく異なる本作は、フランス・ヌーヴェルバーグの影響を受けた最初のインドネシア映画と評されている。



監督: ガリン・ヌグロホ  
出演: ティオ・バクサデウォ  
アジ・マツサイド  
1991年/35ミリ/カラー/97分  
インドネシア/日本語字幕付き

4(日) 11:00 / 9(金) 11:00

## ドウルの少年期 *Doel, The Betawi Boy*

ジャカルタ郊外に住む少年ドウルは、学校に行きたかったが、父親が許さなかった。ある日父親が事故死し、ドウルは母親を助けて働かねばならなくなる。インドネシア各地からジャカルタに集まって来た人々の生活を描いて当時大ヒットとなった作品。監督の少年期の回想も含まれている。



監督: シュマンジャヤ  
出演: ラノ・カルノ  
フィフィ・ユン  
1973年/35ミリ/カラー/86分  
インドネシア/日本語字幕付き

7(水) 14:00 / 10(土) 14:00

## 囚われの美女 *ロロ・ムンドウト Roro Mendut*

17世紀ジャワのイスラム教国マタラムは小国パティの反乱を鎮圧。多くの戦利品の中にパティ王の側室ロロ・ムンドウトがいた。反乱を鎮圧した将軍はロロを側室にしようとするが、彼女は頑なに拒否するのだった。ロロの純愛物語はジャワでは有名な伝説。監督はこれを最後まで権力に抵抗した恋人の物語として再現。見事な歴史ドラマとなった。



監督: アミ・プリヨノ  
出演: メリアム・ベリナ  
W. D. モフタル  
1982年/35ミリ/カラー/107分  
インドネシア/日本語字幕付き

8(木) 14:00 / 11(日) 14:00

## 母 *Ibunda*

貴族の未亡人ラヒムには5人の子どもがいた。二男のフィカルは俳優として成功していたが、金持ちの女と浮気をしており、ラヒムはフィカルを説得しようとする。ラヒムを中心に子どもたちのエピソードが同時に進行していく物語。86年インドネシア映画祭で最優秀監督賞等を受賞した作品。



監督: トウグ・カルヤ  
出演: アレックス・コマン  
ニニック・L. カリム  
1986年/35ミリ/カラー/103分  
インドネシア/日本語字幕付き

14(水) 14:00 / 17(土) 11:00

## 青空がぼくの家 *My Sky, My Home*

ゲンボルはジャカルタのスラムに住む少年。ある日金持ちのアンドリと友達になる。そして二人はアンドリの祖母の田舎を目指して旅をする。二人の少年のスリリングな冒険が描かれるが、スラムでの悲惨な現状を描きながらも監督は希望を失わない。映画はユーモアと詩情に富んでいる。



監督: スラメット・ラハルジョ・ジャロット  
出演: バンユ・ビル  
スナリョ  
1989年/35ミリ/カラー/105分  
インドネシア/日本語字幕付き

15(木) 14:00 / 17(土) 14:00

## ヌサ・プニダ島 *Penida Island*

20世紀初頭のバリ。殺害された王の娘パンダン・サリは助け出されて、小さな漁村で密かに暮らす。やがて成長したパンダン・サリは家臣の息子ジャヤと恋をする。しかし平民と王族の恋は許されなかった。魅惑的なバリの音楽と舞踊、美しい海と島の自然が悲恋の物語を彩る。



監督: ガレブ・フシン  
出演: イダ・アユ・ディアステニ  
ライ・サハタビ  
1989年/35ミリ/カラー/113分  
インドネシア/日本語字幕付き

23(金) 14:00 / 25(日) 14:00

## 虹の兵士たち *The Rainbow Troops*

1974年。インドネシアのブリトン島。島で最古のイスラム学校に10人の新入生が入学した。学校の先生は校長のハルファンと新任の女教師ムスリマだけ。個性豊かな子どもたちとムスリマの交流が始まる。ムスリマは子どもたちを「虹の兵士たち」と呼び、勉強を教えていく。5年の歳月が過ぎるが学校には下級生が入学せず、存続の危機に陥る。子どもたちは学校のPRのために独立記念祭のパレードに参加するのだった。

ブリトン島はスズの鉱山があり、豊かな島である。そんな島でも貧しく学校に通うことが難しい子どもたちを描いた本作は、その年インドネシア最大のヒット作となった。子どもたちはすべてブリトン島でのオーディションで選ばれている。日本映画「二十四の瞳」を連想させる本作は教育の大切さを見事に描いた傑作である。



監督:リリ・リザ 出演:チュツ・ミニ スルファン  
2008年/35ミリ/カラー/125分/インドネシア/日本語・英語字幕付き



16(金) 11:00 / 18(日) 14:00

## ラマダンとラモナ *Ramadhan and Ramona*

ラマダンの父親はマレーシアの不動産王。ラマダンは退屈な日常から逃れるためにジャカルタにやって来る。デパートで美しいラモナに出会ったラマダンは結婚を申し込むのだが、ラモナは次々と転職して逃げようとする。随所にコミカルな場面を織り込み観客を飽きさせない娯楽作品。当時インドネシアで大ヒットとなった。



監督:ハエルル・ウラム  
出演:ジャマル・ミルダット  
リディア・カンダウ  
1992年/35ミリ/カラー/87分  
インドネシア/日本語字幕付き

21(水) 14:00 / 24(土) 14:00

## シェリナの大冒険 *Sherina's Adventure*

シェリナは元気な女の子。父親の仕事のためバンドンに転校するが、いじめっ子のサダムと真っ向から喧嘩してしまう。ある日父親と一緒に農園に行くとそこにサダムが。彼は農園の末っ子で、過保護の子であることが分かる。子どもたちの冒険をミュージカル仕立てで描いた大ヒット娯楽作品。



監督:リリ・リザ  
出演:シェリナ・ムナフ  
デルビィ・ロメロ  
2000年/デジタル/カラー/112分  
インドネシア/日本語・英語字幕付き

22(木) 11:00 / 24(土) 11:00

## クルドサク *Kuldesak*

映画を撮りたいアクサン。カート・コバーンに心酔するアンドレ。映画館でチケット販売をするディナ。キャリア・ウーマンのリナ。4人の物語をそれぞれ4人の監督が撮影するという手法で作られた作品。スタイルの異なる4本の映画を見ているような作品だが、4人の監督は現在インドネシア映画界を代表する映画人となっている。



監督:ミラ・レスマナ、他  
出演:ピアンカ・アディネゴロ  
オッピー・アンダレスタ  
1998年/デジタル/カラー/99分  
インドネシア/日本語・英語字幕付き

22(木) 14:00 / 30(金) 11:00

## いきなり、ダンドウト *Suddenly Dangdut*

ペトリスは人気のロックスター。しかしある日警察に麻薬所持の疑いで逮捕される。隙を見て逃げ出したペトリスはダンドウトの演奏グループに紛れ込む。ダンドウトとはインドネシアの大衆音楽。貧しい民衆の歌であり生活の苦しさや圧政を皮肉に変えて歌う。テンポの良い展開と豊かな娯楽性の中にインドネシア社会の問題が盛り込まれた秀作。



監督:ルディ・スジャルウォ  
出演:ドウイ・サソノ  
ティティ・カマル  
2006年/35ミリ/カラー/95分  
インドネシア/日本語・英語字幕付き

23(金) 11:00 / 25(日) 11:00

## 永遠探しの3日間 *3Days to Forever*

ユスフは大学生。いとこがジョグジャカルタで結婚することになり、一族伝統の食器をユスフが車で運ぶことになる。いとこの妹のアンバルが車に同乗する。二人は道中様々な会話を交わす。それは二人にとって忘れられない3日間となるのだった。大きなドラマがあるわけではないが、お互いを認め合い理解する事の大切さを描いた作品。



監督:リリ・リザ  
出演:ニコラス・サブトラ  
アディニア・ウイラステイ  
2006年/35ミリ/カラー/104分  
インドネシア/日本語・英語字幕付き

28(水) 14:00 / 30(金) 14:00

## 聖なる踊子 *The Dancer*

1953年、インドネシア中部のパルック村。少女のスリンティルはロンゲンの踊子になる決心をする。しかし踊子は先祖への供物とされ結婚はできないのだった。ロンゲンの踊子とは先祖の霊に踊りを見せる地位の高い女性である。インドネシア現代史を背景に民族的な伝統の中での悲劇を描いた作品。



監督:イファ・イスファンシャ  
出演:オカ・アンタラ  
プリシア・ナスティオン  
2010年/デジタル/カラー/112分  
インドネシア=フランス  
日本語・英語字幕付き

29(木) 11:00 / 31(土) 11:00

## ティモール島アタンブア 39°C *Atambua 39° Celsius*

ティモール島は西半分がインドネシアであり、東半分がポルトガル領であったが、1999年東半分が東ティモールとして独立する。アタンブアは国境の街であり、そこへやって来た難民は25万人を超えと言われる。ドキュメンタリー的な手法でアタンブアの街の様子を切り取った作品。



監督:リリ・リザ  
出演:グディーノ・ソアレス  
ベトゥルス・ペイトレ  
2012年/デジタル/カラー/90分  
インドネシア/日本語・英語字幕付き

29(木) 14:00 / 31(土) 14:00

## ジャングル・スクール *The Jungle School*

スマトラ島の南部にある国立公園。環境NGOで働くブテットはジャングルに住む子どもたちの先生として働いていた。ある日ブンゴという少年が勉強に参加してくる。しかしブンゴの親たちは勉強を不吉なものと考えていた。映画の主人公ブテット・マヌルンは実在の人物で、彼女の教育支援活動は世界的に高く評価されている。学ぶことの大切さを描いた傑作。



監督:リリ・リザ  
出演:プリシア・ナスティオン  
ニュンサン・ブンゴ  
2013年/デジタル/カラー/90分  
インドネシア/日本語・英語字幕付き



1 木 ▶ 3 土	休 映 日	
4 日	11:00 ドウルの少年期	14:00 三人姉妹
5 月	休 館 日	
6 火	休 映 日	
7 水		14:00 囚われの美女 ロロ・ムンドウット
8 木	11:00 蚊帳の中	14:00 母
9 金	11:00 ドウルの少年期	14:00 三人姉妹
10 土	11:00 蚊帳の中	14:00 囚われの美女 ロロ・ムンドウット
11 日	11:00 ナガ・ボナール將軍	14:00 母
12 月	休 館 日	
13 火	休 映 日	
14 水		14:00 青空がぼくの家
15 木	11:00 一切れのパンの愛	14:00 ヌサ・プニダ島
16 金	11:00 ラマダンとラモナ	14:00 ナガ・ボナール將軍
17 土	11:00 青空がぼくの家	14:00 ヌサ・プニダ島
18 日	11:00 一切れのパンの愛	14:00 ラマダンとラモナ
19 月	休 館 日	
20 火	休 映 日	
21 水		14:00 シェリナの大冒険
22 木	11:00 クルドサック	14:00 いきなり、ダンドウット
23 金	11:00 永遠探しの3日間	14:00 虹の兵士たち
24 土	11:00 クルドサック	14:00 シェリナの大冒険
25 日	11:00 永遠探しの3日間	14:00 虹の兵士たち
26 月	休 館 日	
27 火	休 映 日	
28 水		14:00 聖なる踊子
29 木	11:00 ティモール島アタンブア39℃	14:00 ジャングル・スクール
30 金	11:00 いきなり、ダンドウット	14:00 聖なる踊子
31 土	11:00 ティモール島アタンブア39℃	14:00 ジャングル・スクール

イ  
ン  
ド  
ネ  
シ  
ア  
映  
画  
特  
集

## 「クルドサック」について

今回上映するインドネシア映画「クルドサック」は、インドネシア映画史の中でも特異な作品として記憶されている。4人の若い監督のデビュー作であり、彼らが監督・プロデュース・脚本をこなしたいわゆるインディペンデント映画である。彼らがこの映画の製作を開始したのは1996年。スハルト政権末期のこの時代、インドネシアではほとんど映画が製作されていなかった。たとえば1998年のインドネシアの映画製作本数は4本だった。「クルドサック」はその中の1本であるが、「クルドサック」とはフランス語で「袋小路」「行き止まり」を意味する「キュル・ド・サック」から来る。これは様々な規制で窒息するような映画界を表しているのかもしれない。彼らは政府の撮影許可もとらずこっそり映画を製作した。それは彼らが「映画への狂おしい愛情を示し、創造的精神を窒息させる映画業界に対して自分の個人的アイデンティティと立場を表明する」(「第24回アジアフォーカス・福岡国際映画祭カタログ」より)ためだった。

映画はスハルト大統領が失脚した98年5月に公開され、アメリカ映画に対抗してヒット作となった。インドネシア映画の時代の転換を象徴する作品となったのだ。以後4人の監督、ミラ・レスマナとリリ・リザはプロデューサーと監督として名コンビを組み「虹の兵士たち」や「ジャングル・スクール」等の名作を生み出していく。ナン・T・アハナスは貴重な女性監督として芸術映画を監督。リザル・マントファニは娯楽映画の巨匠となっていく。4人はインドネシア映画界で中心的存在となっていくのだ。彼ら4人の作風の違いがデビュー作の「クルドサック」から感じられることも本作の特徴である。



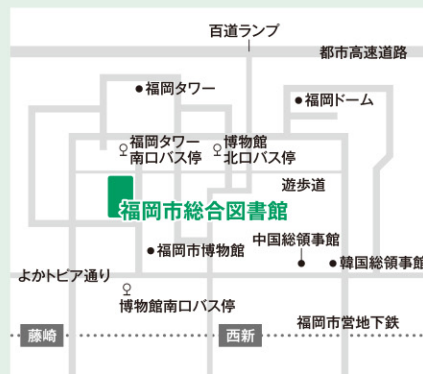
写真は左から  
ナン・T・アハナス  
リリ・リザ  
ミラ・レスマナ  
リザル・マントファニ

## 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号  
福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



### 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

#### 【市営地下鉄】

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

#### 【西鉄バス】

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分  
●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター(tel.0570-00-1010)に直接お問い合わせください。